

2020 年度総会を開けなかったこと  
および  
書面議決による役員会

昨年度（2020 年度）は、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、総会行事を中止せざるを得ませんでした。少なくとも、会員が一堂に会して講演会を催し、続いて総会を開くことは許される状態ではありませんでした。

従来形の総会開催を断念する場合、それに代わる手続きをどうすべきかをまず世話人会の場で相談いたしました。書面議決を用いての総会開催は、当会の現状を踏まえると適切な方法とはいえない、ということになりました。そして世話人会の結論として、総会を断念し、それを補うため次のことを役員会に諮ることにしました。

- (1) 書面議決を用いて役員会を開催し、ただし役員間で議案に関するメールでの討論が出来る期間を設ける。その期間を経たのち書面議決を行うこととする。
- (2) 2020 年度はこの役員会の決議に従って運営する。
- (3) 通常形の総会が開かれたときに、上のような手順をとったことの可否を諮る。もし承認を得られなかった場合は会長がその責任をとる。

この案を役員の皆様が賛成くださいましたので、まず別紙の議題をメールにて送付し、定められた期間に議題についてメールによる討議をおこなうことにし、その期間が過ぎた後に、別途封書にて郵送しておいた書面議決書に各役員の判断を記入のうえ送り返して頂くことにいたしました。

役員全員から議決書が送り返され、全役員がすべての議案に承認および賛成を表明してくださいました。

次ページ以後に、役員会議案書を掲載いたします。ただし、議案書の最初の説明“0. 役員会開催方法について”のなかに箇条書きされている項目のうちの、項目 (5) 日程の中の日付はいずれも 2020 年 です。

以上のごとき形で開催された役員会決議にしたがって、2020 年度の運営をいたしましたことご報告いたします。

会長 井川 満

# 京都大学理学研究科・理学部数学教室同窓会 役員会

## 0. 役員会開催方法について

新型コロナウイルス感染が、収束するどころか勢いを増しかねない情勢であり、京都大学は、入学式が開催できぬままに、講義もオンラインで行っている現状に鑑み、同窓会役員会を通常の形で開催することを断念せざるをえなくなった。

過日会長から各役員に、書面議決によって役員会を開催することについてのお考えを伺ったところ、反対意見を表明された役員はいなかった。これに基づき、今回の役員会は以下の方法を採用することにする。

- (1) 議決は書面によるものとする。書面表決書は会から各役員に郵送する。
- (2) この議案書は会長から各役員にメールで配信する。議案についての質問や意見交換は、役員全員宛のメールで行うこととし。その期間を7日間とする。
- (3) 各役員は、この期間終了後に議案についての判断を、送付した書面表決書に記入して会宛に郵送する。
- (4) 会に送られた表決書の集計は会長と副会長が行い、結果はメールにて知らせる。通常の形で役員会が開かれるとき、表決書を示して集計結果の承認を得る。
- (5) 日程
  - 議案書のメールによる送付 8月19日
  - 質問等の意見交換終了 8月26日正午
  - 書面表決書の発送 8月21日
  - 書面表決書受付の締め切り 8月28日消印有効

## 議案

### 1. 2019年度活動報告

- (1) 2019年10月26日(土)に、総会、講演会、懇親会を開催した。
  - 総会 出席者35名。会長より2018年度の活動報告があった。米谷氏より、“年会費”なる言葉を用いながら、滞納による罰則規定などがないことの問題性の指摘があった。
  - 講演会 日本総合研究所常務理事の西口健二氏による講演であった。銀行に就職した会員も聴きにきてくれた。
  - 懇親会 参加者42名。参加者がやや固定しつつある感を受ける。広く参加してもらえる方法を考えなければならない。

- (2) 2019年8月25日に同窓会誌第3号を出版し、会が送付先を把握している会員に郵送した。
- (3) 楠先生の筆による数学教室の絵3枚を絵ハガキにした。10月26日の行事参加者に配った。
- (4) 例年数学教室が開催する学位記授与式は、新型コロナ禍により中止となった。同窓会から祝辞やお土産を渡すことが出来なかった。

修士課程修了者は数学教室で学位記を受け取ったので、大部分の修了者から今後の連絡先などのデータを貰うことができた。しかし、学部卒業生は理学研究科事務室で学位記を受け取ったため、卒業後のデータを貰うことが出来なかった。従って、この学年の学部卒業生に対しては、同窓会は連絡方法をもたないことになった。

## 2. 会計報告

### 2019年度会計報告

2020年7月17日に、吉川謙一会計担当常任役員より作成された2019年度（2019年6月1日～2020年度5月31日）の会計報告が、稲生啓行監事と徳田裕也監事による監査がなされ、会計は適切に管理されてきたことが認められた。会計報告書参照。

## 3. 議事

### 第1号議案: 活動報告の承認

### 第2号議案: 会計報告、監査結果についての審議

### 第3号議案: 2020年度会計の執行

2020年度の年会費および寄付のお願いはこれまで通りに行う。支出は例年の範囲において会長の責任で行う。特別の事態が生じたときは、役員会に諮った上で支出する。

### 第4号議案: 2020年度総会、講演会、懇親会

新型コロナ禍がどうなるかの見通しが立たないなか、中止となりうることを含んだうえで、講演会の講師を世話人会で定め、お願いして了承を貰った。しかし、現状に鑑みこれらの行事を全て中止することにする。

### 第5号議案: 愛称募集の結論を先送りする

愛称募集は、2019年度の総会で2020年7月31日まで延長することが認められ、その結論を今年度に出すことになっていた。この課題の性質上、慎重な議論を要することであるので、結論は通常形で総会が開けるまで先送りすることにする。

応募者には結論の先送りを会長から知らせる。

**第 6 号議案: 同窓会誌**

同窓会誌 4 号は通常通り発行・配布する。

**第 7 号議案: 学位記授与式**

2020 年度の学位記授与式が開かれる場合は、従来通りに同窓会は開催を助け、祝辞を述べかつ記念品を渡すことを実行する。

**第 8 号議案: 総会不開催への対応**

総会を開催しないので、この役員会で決定した案件は、会長の責任で実行し、通常の形で総会が開けたときに、事後承認を諮る。承認を得られない時は、会長が責任を取る。

以上

## 2019年度 理学研究科・理学部数学教室同窓会 会計報告

(2019年6月1日～2020年5月31日)

収 入			
費目	内訳	金額(円)	備考
繰越	繰越(収支簿)	1,805,982	
利子	受取利子(10/1:3円 4/1:3円)	6	
寄付	2019年6月1日～2020年5月31日	655,000	
年会費	2019年6月1日～2020年5月31日	396,000	
懇親会参加費	8,000円×41名	328,000	
合 計		3,184,988	(A)

支 出			
費目	内訳	金額(円)	備考
事務費	講究写真現像・用紙・封筒・振込手数料等	15,473	
	ソフトウェア	94,396	
通信費	切手・送料	1,362	
	同窓会誌発送料	103,396	
印刷費	同窓会誌	624,888	
	楠先生記念絵葉書	114,070	
総会・懇親会(詳細別表)	飲食費	301,166	
	記念品・花	30,756	
	謝礼	103,000	
学位授与式(中止)	飲食費	0	
	記念品・花	0	
	写真現像・送付	0	
合 計		1,388,507	(B)

差し引き			
区分	内訳	金額(円)	備考
収支差額	(A)-(B)	1,796,481	
2020年度会計に繰越		1,796,481	

理学研究科・理学部数学教室同窓会  
2020年7月14日

吉川 謙一

監査の結果、上記報告書に相違ないことを報告いたします。

2020年7月14日 稲生啓行



2020年7月14日 徳田裕也

